

会 議 録

件 名	城山小学校保護者説明会・意見交換会（第1回）
日 時	令和6年6月2日（日）午前10時00分から午前10時55分まで
場 所	城山小学校 体育館
参加者	保護者 13名（家庭数12） 今田教育長、岡教育部長、阪口参事、丸山教育総務課長、大谷学校教育課長 長谷川生涯学習課長、中下教育委員、田中教育委員、東川、中山

今田教育長挨拶、丸山教育総務課長から資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。
なお、出席した保護者には、後日、意見等を記入できる用紙を配布しました。欠席した保護者にも資料を配布とともに意見等を記入できる用紙を配布します。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1. 2つ質問があります。まず1学級にする2学級にするというお話があったんですけども、1学級の人数の目安は何人になっていますか。最初の挨拶のときに、橋本市では中学校は4校が望ましいとなっていたんですけども、今5校があるんですね。今後どうなっていくかを教えていただきたいんです。

（教育委員会）

今回の第2期基本方針におきまして、1学級の望ましい人数というのは設けていません。今回は1学年2学級ということで、学校の規模というのを方針の中に入れさせていただいていますが、学級の規模というのは、市内の各学校、小学校におきましては、本当に少ない学級数、少ない人数のところもありますし、20人、30人の学級もあるのですが、それぞれの学級規模の中で、日々、授業等を行うとさせていただいています。その点、ご理解をいただくとともに、学級の人数というのは、規定はさせていただいていませんのでご了承いただきます。それから、中学校に関しては、第1期の基本方針が平成26年度に策定されたのですが、長期的には4校が望ましいという方針を立てさせていただいています。

今回第2期基本方針を、この令和6年に作りましたが、その中では、中学校については見直しを行わないとし、小学校のみの見直しをさせていただいています。従いまして、今日の説明の中には、中学校については説明を省かせていただいています。

2-1. 先ほど中学校の話がありましたが、家を買ったり、転入をしたりするときに学区はすごく考えて転居をいたします。中学校の話はわかりませんという中で、5年後ですね、5校を4校にするというその1校に当てはまった校区の方は、大変困惑されるんだろうというふうに考えます。近くで利便性が上がるのであればいいのですが、利便性が悪くなる

ということは想定されますので、基本減っていくということですので、ここは早急に、検討を公表すべきだろうというふうに思います。これは意見でございます。

あと、まずこれ、統廃合という形になるんですけども、地域の皆様から、今の環境では子供たちにとってより良い環境でないので、統廃合をして欲しいという要望がPTAだとか、区長さんとかからあった上で検討されているのかをお伺いしたいと思います。

(教育委員会)

ご質問いただいたPTAの方、もしくは地域の方、区長さんからという形では、直接いただいていませんので、最初に説明させていただいた、諮問させていただいた検討委員会に代表の方は入っていただいています。その中で、望ましい学校規模という形でご意見をいただいて、第2期基本方針を策定させていただいております。

2-2. それで2点目ですけども、城山小学校の方は、おそらく来ていただくような形なので、それほど大きな混乱はないとは思いますが、境原小学校の方でも説明されたかと思うんです。こちらの方の説明会では、保護者の方たちはある程度納得されたような形の印象をお持ちでしょうか。

(教育委員会)

印象という形ですけど、納得ではなく、今の学校を存続させていただきたいという旨の印象が強かったです。

2-3. 確認なんですけれども、通学バスについては2キロ以上でやりますということで、今、私グーグルで調べたら、直線距離でなく道路距離ですけども、小峰台のバス停ぐらいいでも1.7キロで、小峰台全体が2キロ以内ということで、ここに住まわれてる方は、城山小学校に通学にするにあたっては、徒歩で通学するという要件になると思うんですけどその認識でよろしいでしょうか。

(教育委員会)

その辺りを、これから具体的に定めていくんですが、例えば同じ自治会で線引きをして、この方がスクールバスの対象となっていて、こちらの方がならないというのは、やはり不公平感が生じますので、民間の路線バスのバス停もあるので、そういった辺りは柔軟に考えさせていただきたいと考えています。

2-4. それでは小峰台中と西で、小峰台に住まわれてる方は、それを公共バスを使うか、もしくはスクールバスで城山小学校に通うように、2キロ以内であっても検討されるということでしょうか。

(教育委員会)

はい。そういった状況もあり得ると思います。

2-5. ありがとうございます。次に22ページ、これからの予定ですけれども、庁内検討委員会をされると、説明会を当然していただくと思うのですけれども、平成22年度に文科省が適正規模・適正配置の教訓というものを出版されていますけれども、この中に、今回は諮問委員会の話はしたということなんですけれども、これから具体的な検討に入るにあたって、いわゆる準備委員会というようなものですね。要は、それぞれのPTAだとか、学校だとか、民生児童委員だとか、学童の方とか、防災の方とかですね、そういう方を入れたような、具体的に統合するにあたってどういうふうにしていくんだらうというような準備委員会というものを、これから立ち上げて、この7年の3月、今年度の末までにこれを決定するというそういうことを考えられているのでしょうか。

(教育委員会)

今いただいたご意見ではなくて、まず基本方針の説明をさせていただいて、意見交換・対話させていただき、同時並行で庁内の検討委員会で検討していくわけですけど、それが計画として定まってから、実際の学校再編までの間に統合準備会というのを設ける予定です。そのメンバーというのはまた改めて検討させていただくんですけども、やはり学校運営に携わっていただいた方から意見を聞くような形で考えていくべきだと思います。

3-1. 途中でちょっとすみません聞き取りづらかったのですが、人口推移を検討するのに10年ごとにとということでしたでしょうか。人口推移の中身を聞き取れなかったのもう一度説明していただけたらありがたいです。

(教育委員会)

この学校再編に当たり人口減少していく中で、今、この時点で1度推計を出すわけなんですけど、さらに10年後にどういった状況になっているかというのを確認した上で、今後のことを考え、それから以後のことを考えていくということを考えております。

3-2. 橋本市内の総人口と児童数を全部ということですか。

(教育委員会)

はい。児童数をメインに考えていきます。

3-3. そこで途中でガッと下がったとしても10年ごとやったら途中でわからないってことですね。

(教育委員会)

途中では出生数の把握はいたしますが、推計については概ね10年スパンという考え方でご認識いただくとありがたいです。

4-1. 21ページ、隅田小には恋野小の方から、境原小から城山小へとあるんですけど、境原小の学区が、小峰台に住んでいる子と紀ノ光台でわかれるという意見があると聞いた

んですけども、そうすると紀見東中の方の、9ページにある生徒数の方が、紀ノ光台の子が隅田小の方に行くとなるとぐっと減るかなと思うんですけども、その辺、この今21ページにある、境原小の児童全員が城山小に来るのか、どの方向に今なっているのかちょっと聞きたいです。

(教育委員会)

今この表につきましては、境原小学校の児童さんが城山小学校に来ていただく想定で書いています。今言われたように、境原小学校では指定校の話がありました。本日は、学校再編のところまでしかお話できてないのですが、あわせて今、紀ノ光台の保護者の方からその学区、指定校のご意見をいただいています、並行してこれから考えていくこととなります。

もし、例えばの話ですけど、紀ノ光台のお子様は隅田小学校に通っていただくということになれば、こちらの人口推計は若干変わるようになります。

4-2. ちょっと知り合いが小峰台と紀ノ光台にいて、学校が変わるのだったら、わかった時点で、次1年生入学でしたら城山小の方に入りたいわ、隅田小の方に1年生から入りたいわというのも聞いたんですけど、そういうのも検討されているのですか。

(教育委員会)

そのお話を、境原小学校の保護者説明会・意見交換会でもいただきまして、これから考えていく次第です。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された保護者から提出いただいた意見の内容です。

5. 橋本市だけの情報ではなく、他の市ではどのような学校づくりが目指されているのか知って、先駆的なものがあれば、情報共有すべきだと思います。

教員の日々の業務の効率化を進め、子供たちへの言葉がけはどうか等、振り返る時間が必要だと思います。教員が定時退社でき、持ち帰りのないクリーンな労働であって欲しいです。大人のイライラが、こどもに反響される事のない様に個人の努力ではなく、学校として対策して欲しいです。

6. 少子化が進み、小学校によっては、学級数、クラス人数が少ない所もあると思います。統合の関して反対ではないですが、通学に時間や距離が生じるとご家庭もでできます。スクールバスを利用する場合の運行方法や（学年によって授業の終了時間が異なる場合など）安全面など、より細やかな話し合いが必要になってくると思います。

7. 子供の数が減っていく事はわかっているので、統合は仕方ない事だと思う。3年後を目標に話しが進むなら校舎はどちらを使うとか学童の設置、スクールバス等を含む廃校となる学校の生徒への対応を具体的に教えて欲しいと思いました。統廃合については、メリット・デメリット共にあると思いますが、未来の子供たちがより良い環境でなるべく制限なく学校に通えるようになる事を願っています。

共働き世帯も多いので、学校への送迎が必要になってくるのか、下にきょうだいがいる人にとっては、どこの保育園・幼稚園に行かせるか、育児休業取得中の人は、時短制度を使うのか、家をまだ建てていない人にとっては、子の通学の校区も視野に入れると思うので、とにかく、どちらの校舎を残す予定なのかは早く知りたいです。それにより現状を変える必要がある人や見直す必要がある人もいると思います。さまざま意見があり大変かと思いますがよろしく願います。

8. 学校再編で境原小の紀ノ光台の子供は、あやの台小もしくは、隅田小との声があがってきていますが、元々は中学校区で考えると紀見東中学校区にあると思います。兄弟で再編期に小中の子供がいると別校区の中学校に進む子供がいる事になりませんか？

再編において、制服や指定のものは統合時に高学年では購入し直しや他児と別の物となり、特に城山・境原の統合は（制服・私服）など金銭負担も大きくどう考えておられますか？PTA役員など各学校での取組みについて主体を保護者や学校現場に置き過ぎず、教育委員会のあり方、運営ももめる原因や不満のあがる要因と思われる。統合前よりも統合後どう支援していくのか提示していただきたい。

城山小の建て替え工事がなされていますが、統合を見据えた建て替えがされていますか。

クラス数だけでなく、支援クラスの増加など考えておられますか。

9. 近所の学校が統合先になるなら、どなたでも良いと思うのですが、場所が離れてしまった場合、子供、親にも負担になってしまうと思います。

統合した結果、1クラスの人数が多くなり先生の目は届くのか心配になります。

10. 特にありませんが、人数増加にともない。学童に入所しづらくなるのは困ります。

11. 境原小学校に現在通っている子供たちが、城山小に来ようと思うと、距離があるので通学が危なくないように考えてほしい。(通学路の交通状況だけでなく、夏場の暑さに対する対応も。) 城山小は、制服があつて良かったとおもっているのですが、制服のない境原小の方は購入することになるのかも気になりました。

12. 娘の友人が紀見小学校にいます。3年生が現在1クラスでクラス替えが無く、学校が楽しくない、と言っていました。理由は、嫌なことをしてくる子と6年間一緒にいないといけないし、やられてやり返すと自分ばかりが悪く言われて、結局、いつも先生に注意されるのは自分になるから、とのことでした。紀見小学校は今回、統合しないようですが、他校の同級生との交流など、皆に平等に楽しいと思えること、心が救われるようなことを与えていただければと思います。難しいことなのかもしれませんが、そこに住んでいるから仕方ないとあきらめる気持ちを持たざるを得ないのは悲しいです。そして、いじめ等、される側が心や生活を守るために逃げて、生活や環境の変化に対応していかなければならないのは、変だと思います。その様な悲しいことが少しでも緩和される様に、支えとなる様な何かがあれば、今より良いのかなと思いますのでご検討お願い致します。議事から逸れてしまい申し訳ありません。

13. 小学校：児童数100名以下の小学校を早期廃止、中学校：生徒数の推移に基づき、早期に3校へ（橋本中央中学校、隅田中学校、紀見東中学校）。他校は廃止。

選択と集中により「給食の無償化」「通学費用の無償化」の早期実現。通学に絡めた、市民全員が使える交通インフラ（バス・タクシー）の整備。

少数の小・中学校を活かした、近隣市町村にない、先進的な教育施設・ICT活用教員とする。

14. 紀見東中学校区は、スクールバスではなく、既存のバスで登下校できるように、本数を増やすなどの対処なども良いのではないのでしょうか。親の気持ちとしては、学校の登下校の時に、何かないか心配になります。安全にできるようお願いいたします。

15. この町で一生を終えたいと思っても、結局、大学がないから、皆、大阪へ行くしかない。ゴミも週1回しか来ないから恐ろしく不便。学校も考え方が古臭くて、市立なのに、特に制服のことで、わけのわからない厳しいルールを強制してくる。まあ、衰退していくでしょう。土地代を安くして、居住者を少しでも増やしたらどうでしょうか。長野や大分が、それで人口を増やしています。適正配置とかそういうのは、要するに住んでる子供が減って、衰退の一途をたどっているわけだから仕方ないのでは。

16. いつも子供たちの教育にご尽力いただき、ありがとうございます。今回の件ですが、これだけ子供的人数が減ってきている中で、小学校の統廃合がなされるのは仕方のないことだと思います。ただ、今回の資料では、全体的に統合によるメリットばかり記載されているように感じたので、デメリットも保護者や子供たちが把握できる形で、そして、それらをどのようにカバーするのかを具体的に提示していただければと思います。特に資料P14③の④、P20⑥の⑤について、ふわっとした表現になっていますが、今の時点で既に先生方の負担が大きくなっていく中、どのようにして重点目標をクリアし「全ての子供の可能性を引き出す」のか、明確化していただきたいです。家庭や友達との関係性はもちろんですが、毎日接してくれている先生の笑顔や言葉一つで子供の心も大きく変わります。先生と子供たちの関係性がより良い形に、そしてさらに笑顔が増えるような体制を整えていただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

17. 人数の少ない単学級の児童生徒が複式学級に移行する時は、ある程度、今まで仲の良かった友達と同じクラスにする等の配慮は必要になってくると思う。

18. 少子化のため、学校統合は良い事だと思います。統合する上で、不満がある方や学校が変わる子供たちの不安も大きくなると思います。それらを含め、より良い環境づくりを行っていただけたらなと思います。

19. 子供が少なくなっているのに、学校の統廃合をするのは仕方ないと思います。多感な時期によりたくさんの人たちにふれ合って、幅広い考え方ができるようになって欲しいです。ただ、通学するのに不便になってしまう子がいたり、危険な道があったりするの怖いので、きちんとしたフォローがいるかと思っています。

20. 少子化に歯止めをかけることは困難にて、小・中学校の統廃合による生徒数の確保は、集団生活を学ぶ上で重要と考えます。授業に関しては、受け身の学習から自発的な学習への移行には、先生方にも考え方を変わってもらい必要があり、とても大変なことと思います。働き方改革として、先生方にも負担がかからない方法を考えていただけたらと思います。

21. 難しいことはあまりわかりませんが、少子化が年々進んでいっていることはわかります。何が変わって、何が変わらないのか、大切な事・親が望むことは、子供たちが戸惑い無く今までと同じような環境で過ごしていけることを願います。統合することで良くなること、その事によって問題も出てくると思いますが、安心して過ごせる場所であってほしいです。子供たちの未来をよろしく願いいたします。

22. 資料を拝見して、少子化のため色々な変化は必要なことであり、再編は大変で（初年度などはトラブル等あり、荒れる傾向にあることも）、問題等を徐々にクリアしていけば、非常にポジティブな学校づくりができるのでは？と大いに期待しています。特にスクールバスの通学距離を設けないというところが良いです。紀見東中から、紀見小地区の子供たちが暗い道を歩いているのを見ると、いつも心配になっていたのも、また、帰宅時間の違いによって自宅での学習時間の確保等、差が生じなくなるのも良いと思います。新しく学校を再編という機会にPTAの廃止、または外部委託などを是非、検討していただけると幸いです。

23. 境原小学校の全生徒が城山小学校へということですか？半分は隅田小学校へという話を聞いたのですが、その際は地域や人数等、明確にラインを決めて欲しいです。（希望性ではなく）

受け入れる方の学校の教室数や大きさ・ロッカー等はどうするのですか？

各学校でPTAや地区委員、学級委員等、規定があると思いますが、廃校になる学校とどの様にすり合わせていくのですか？

スクールバスの件について、対象が廃校の児童のみという点。現在、片道2.5kmを通学しているのに、対象とならないのは不公平では？同じ校区になるのだから、統一性がないとおかしいです。

24. 全国的に教員不足、少子化になっているのをよく耳にします。あまり小学校の仕組みがわかりませんが、高学年だけでなく低学年も、中学・高校みたいに教科によって先生が変わるのはどうでしょうか。担当教科制にすると、教員不足が解消するかも？実際、小学校の先生は全教科できないとダメとか、英語であれば、CDを流して授業をしていると聞いています。今の子どもたちが就職する時は、英語が話せないと就職できないと言われていきます。ゆとりでない今の世代は、1つの授業に対して長く時間を取れないと思うので、その強化に特化した先生に教えてもらうのも1つの案かと思います。後、教科によっては2クラスを3クラスに分けて少人数にすることによって、先生1人に対する生徒数が減るので、質問がしやすくなったり、先生の目が届く範囲が広がると思います。ずっと同じ先生の場合、もし合わない先生だったとしたら、1年間、学校に行くのが憂鬱になると思います。少しでも学校に行きたいと思えるような授業（または先生）があるのとないのとでは、学校へ

行く楽しみ方が違うと思います。よくネットで見ると、不登校問題やコミュニケーション障害というのは、やはり人と接する時間が少ないからこそ生じる問題であり、いろんな先生や生徒（グループ、違う学年）とのかかわりが関係していると思っていますので、適正配置基本方針については賛成です。説明会に参加できていないので、趣旨が合っているかわかりませんが、私の意見でした。

25. 地域の実情を考慮し、また、地域の意見も取り入れ、適正規模・適正配置を進めていただければと思います。

26. 児童が減少しているため、学校の統合は仕方がないのかと思います。単学級や複式学級、それぞれの良さ・悪さがありますが、現状、複式学級の方向に向かっているのであれば、配置の取組みと共に、教員の配置や体制なども整えていっていただきたいと思います。

27. 小学校が統合された後、教員の数はどうなるのでしょうか？同じように教員の数も減らされるのであれば、児童の数だけ増え、さらにバタバタしてしまうように思います。

28. 各小学校、少人数でのメリットも感じるが、広い世界、社会に出た時に対応出来る未来を創造し、たくましく生きられるように環境が整うと良いなあと思います。

29. 学校統合による効率化を進める必要も理解できますが、それによるスクールバスの運用など手厚いインフラの充実を希望します。

30. 保護者世代の私にとっては、今の学校生活の方が、子供たちそれぞれの力が発揮できるのかなと感じました。

31. 児童数が少ない学校には、資料にもあったように良さも課題もあると思います。少子化が進んでいるのは事実なので、適正規模に取り組むことは賛成です。その上で、児童数が少ない学校の良さを、学校再編後も続けていけるような取組みを合わせて考えていく必要性を感じます。

特に「児童一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい」という単学級の利点を継続させることができるような教員配置、クラス人数等、学校が安心できる場所、多くの仲間と学び合える場所になることを願っています。

32. 小さい頃から多くの人と出会える環境の方が良いと思います。